

こんにちは
保健師です

予防接種を受けましょう！

保健福祉課
保健指導係
電話 52-2144

子どもは生後3カ月から半年くらいは、お母さんからもらった免疫により、「みずぼうそう」や「はしか」などにかかりにくくなっています。その後自然に失われ、子ども自身が免疫をつくり、病気を予防していくことが必要になってきます。

病気によっては大流行や大きな合併症を引き起こす場合もあります。近年は人の移動も広範囲となり、いつでも感染するのかわかりません。できるだけ予防接種を受け、感染から子どもを守っていきましょう。

予防接種の種類と特徴

(1) 予防接種は、その種類によって年齢と接種時期が定められていますので、標準接種期間に受けましょう（母子手帳の「予防接種カレンダー」をご覧ください）。麻しんの予防接種
自然に感染すると、症状

が重くなることが多いため、早い時期に接種するのが望ましく、今年度から「1歳から1歳3カ月」を標準接種年齢に定めています（昨年度までは1歳〜1歳6カ月とされてきました）。

(2) 予防接種の種類には、次の3種類があります。
ワクチン
生きた病原菌の毒性を弱めたもので、その病気にかけた状態を作り、免疫を作ろうとするものです。十分な免疫ができあがるのに1カ月が必要
です。（ポリオ、麻しん、風しん、BCGなど）
不活化ワクチン
免疫を作るのに必要な成分をとりだして作ります。身体の中で増殖しないので、何回か接種して免疫を獲得

するようになります。（百日咳、日本脳炎など）トキソイド
細菌が作りだす毒素をとりだし、その毒性を無くして作ったものです。不活化ワクチンと同様に何回かの接種を受け免疫をつけます。（ジフテリア、破傷風など）



(3) 予防接種の効果と安全性の確保のため、左図のように接種間隔が定められています。それぞれの定められた期間を誤らないよう受けましょう。

接種後5日以内は、清潔な衣服をつけさせる。当日は、朝から子どもの状態が変わったことがないか確認をする。疑問な時は接種を見合わせる。母子手帳を持参し、保護者が同伴する。

予防接種を受ける前に

予防接種は、体調の良いときに受けるのが原則です。日頃から子どもの健康状態に留意し、次の注意事項を守るようにしましょう。

〈注意〉

前日に入浴をさせ、清潔な衣服をつけさせる。

当日は、朝から子どもの状態が変わったことがないか確認をする。疑問な時は接種を見合わせる。

母子手帳を持参し、保護者が同伴する。

接種後も体調や接種部位の変化がないか十分に注意し、普段どおりの生活をすること。

〈予防接種が受けられない人〉

- ・37.5度以上の発熱がある方
- ・急性の病気がかかっている方
- ・以前に予防接種を受け、アレルギー反応を起こしたことがある方
- ・医師に不適当と判断された人

〈医師と事前の相談が必要な人〉

- ・心臓病や腎臓病などで治療中の方

・食べ物や薬・予防接種などでアレルギー反応を起こしたことがある方
・発育の面で医師の指導などを受けている方など

予防接種の日程

日時と場所は、『家族の健康カレンダー』と広報お知らせ版『まちのカレンダー』で確認してください。

個別に通知はしませんので、対象月齢になりましたら、幾寅診療所で接種を受けてください。ただし、ツ反・BCG、二種混合（6年生）は通知しません。

なお、落合診療所と金山診療所の接種日程は未定です。ご不便をおかけしますが、当分の間、幾寅診療所で予防接種をお受けください。

